今号の主な記事

2面　新潟県村上市立神納小学校
フェリーニューあわしま体験乗船
洋上から岩船沖油ガス田を見学

3面　中・四国地方政治参与会

船員しんぶん

◆ホームページアドレス https://www.jsu.or.jp ◆Eメールアドレス kaiin@jsu.or.jp

全日本海員組合発行 第3101号（昭和25年8月24日第三種郵便物認可）

2025年（令和7年）
11月5日
本紙は毎月5・15・25日発行

〒106-0032 東京都港区
六本木7丁目15番26号
全日本海員組合本部
発行人　齋藤　洋
TEL 03-5410-8329
FAX 03-6910-5339

定価1部 50円
（組合員の購読料は組合費に含む）

新潟県 村上市立神納（かんのう）小学校 「フェリーニューあわしま」体験乗船

58人の児童が船の仕事を学ぶ

澄みきった秋空が広がる10月7日、新潟県村上市立神納小学校の5年生と6年生の児童58人が「フェリーニューあわしま」に乗船し、船橋（操舵室）で操船の仕事を見学した。また、ロープワークを学んだり現役船員の講話を聞くなど船員の仕事を体験したほか、荒井浜の約4㎞沖合の水深約36mの海域に設置されている岩船沖油ガス田プラットフォームを海上から見学するなど、貴重な体験をした。

本組合が主催する体験乗船の企画には、村上市と村上市教育委員会をはじめ、日本海洋石油資源開発株式会社（JPO）や粟島汽船株式会社など、多くの関係者・団体にご協力をいただいた。58人の児童たちは先生の引率で、午前8時40分に村上市岩船港の粟島汽船の乗船岸壁からフェリーに乗船し、船内で乗船式が行われた。

操舵室見学

船の役割りと船員の仕事（講話）

乗船式は本組合の浅野忠行新潟支部長の司会で始まり、主催者を代表し田中伸一組合長代行が「この村上市は昔、海員学校があった船員ゆかりの地域です。児童の皆さんには、体験乗船を通じて、船や船員の仕事を知ることで、船員という職業も、将来なりたい仕事のひとつとして考えてほしい。また、この岩船沖には原油や天然ガスを生産する油ガス田があり、現在は日本で唯一操業しているプラットフォームを海から見学するので楽しく学んでください」とあいさつした。

続いて遠藤友春村上市教育長と日本海洋石油資源開発㈱の原田洋人代表取締役専務取締役新潟鉱業所長があいさつを述べた後、村上市立神納小学校の小池満喜子校長があいさつを述べた。

乗船式が終わると、船の乗組員が出港スタンバイし、児童たちも、岸壁から離れる船の出港作業を見学した。

小池満喜子校長

田中伸一組合長代行

JPOの原田洋人代表取締役（専務）

遠藤友春村上市教育長

フェリーニューあわしま

写真左から、浅野忠行新潟支部長、平岡英彦中央執行委員、伊藤敏明船長、田中伸一組合長代行、大滝恒関東地方支部長代行

岩船沖油ガス田を見学

学習イベント＝操舵室見学・ロープワーク体験・船の役割と乗組員の仕事＆船と海のクイズコーナー

船が出港すると船内では、児童がA班～D班までの4班に分かれ、操舵室見学・ロープワーク体験・船の役割と乗組員の仕事&船と海のクイズコーナーのそれぞれを体験・学習した。

操舵室の見学では、航海士からレーダー装置や舵輪など航海機器の簡単な説明を受け、ロープワーク体験では、現役の船員から、仕事や日常で使える結び方を学んだ。船員の仕事の講話は、関東地方支部の安藏巧在籍専従執行部員と中山航志在籍専従執行部員が、プロジェクターの映像を駆使して、現代の船の仕事の重要性と船員職業をわかりやすく教えた。

平岡英彦中央執行委員

野崎直行粟島汽船取締役

児童代表・平山学登さん

船が岩船沖油ガス田プラットフォームを周回しはじめると、日本海洋石油資源開発㈱の原田洋人代表取締役（専務）自身がブリッジでマイクを持ち、船内放送で岩船沖油ガス田の概要と重要性を、見学する児童たちに説明した。

船が岩船港に入港する直前に下船式が行われ、本組合の平岡英彦中央執行委員からのあいさつ、粟島汽船㈱の野崎直行取締役のあいさつがあり、最後に児童を代表して6年生の平山学登さんから、お礼のあいさつが述べられ、貴重な体験乗船を終了した。

多くの関係者の協力で実施

10月7日に実施した体験乗船では、船員の仕事を知っていただく観点から、新潟県村上市の岩船港から粟島を結ぶ粟島汽船㈱の所属船「フェリーニューあわしま」の乗組員と陸上職員の皆さんに全面的にご協力いただいたほか、新潟支部が担当する佐渡汽船株式会社の職場委員にスタッフとしてご協力いただいた。

村上市では昨年に続く2回目の体験乗船となり、昨年は村上市立岩船小学校の49人の児童が乗船した。今年は村上市との打ち合わせで、高橋邦芳村上市長から、村上市の全部の小学校の児童にも体験乗船させたいという要望があり、今年は、村上市立神納小学校の児童が体験乗船することになり、前日にはスタッフ全体ミーティングを行い当日を迎えた。

体験乗船・スタッフの一言

▶中川貴史さん（佐渡汽船・職場委員）

体験乗船では子どもたちにロープワークを教えました。子どもたちには、いろいろなことに夢を持って恐れずに挑戦してほしいと思います。

▶木村浩明さん（佐渡汽船・職場委員）

体験乗船では、船内で子どもたちの誘導係を担当しました。子どもたちには明るく元気に育って、船に関わる仕事を目指してほしいと思います。

▶佐藤智矢さん（佐渡汽船・職場委員）

体験乗船ではロープワークを担当しました。船員という職業を初めて知った子もいたので、これを機会に船員を目指してほしいと思います。

洋上から岩船沖油ガス田を見学

新潟県・粟島（紹介）

新潟県の粟島は、知る人ぞ知る釣りの穴場的な島で、磯の大物狙いの釣り人や、都会の雑踏を離れ、自然にあふれた島の情景と美味しい海産物を味わいたい観光客などが足を運ぶ島。この粟島と村上市岩船港を「フェリーニューあわしま」で結んでいます。

自然豊かで風光明媚な粟島は海が綺麗なので、夏の浜辺は海水浴客でにぎわいます。そして、海の幸、山の幸が多くあり、都会の喧騒から逃れ自然に触れたい人には、オススメのスポットです。

マダイの島でもあり、釣りの好きな方が何度も訪れる島です。そして粟島の名物料理といえば「わっぱ煮」です。粟島で獲れた旬の焼いた魚とネギを入れてお湯を注ぎ、そこに真っ赤に焼いた石を落として、煮立ったところに味噌を入れるという、豪快な漁師たちの料理です。

岩船沖油ガス田（紹介）

岩船沖油ガス田は新潟市から北東30㎞の日本海大陸棚にあり、そのほぼ中央部に岩船沖プラットフォームを設置しています。これは掘削・生産施設を有する海洋構造物で、荒井浜の約4㎞沖合の、水深約36ｍの海域に設置しています。

昭和58年に発見された岩船沖油ガス田は国内でも最大級規模の油ガス田で、エネルギーの大消費国である日本は、石油や天然ガスの資源のほとんどを海外に依存していますが、安定供給に向けての自主開発事業は、技術的・経済的にも大きな意義を有しています。

全国各地で 地区大会開催

現場組合員と意見交換

定期全国大会を前に各地で地区大会が開催され、10月25日付船員しんぶんに掲載している通り、8つの地区大会の成立を確認した。（関東地区大会、新潟地区大会、神戸地区大会、大阪地区大会、名古屋地区大会、広島地区大会、愛媛地区大会、北九州・下関地区大会）

地区大会の成立要件が満たされなかった会議については懇談会形式で、執行部と現場組合員が、活動方針案を軸に意見交換を行い、共通理解を深めた。

東北地方支部

八戸支部

気仙沼支部

道南支部

北海道地方支部

道東支部

道北支部

北海道地方支部
小樽地区・室蘭地区・苫小牧地区で懇談会

10月10日に小樽地区、14日に室蘭地区と苫小牧地区の地区大会を開催したが成立要件を満たせず地区懇談会に切り替え、活動報告と第81年度活動方針案について執行部が説明し共通理解を深めた。

道北支部
稚内地区で懇談会

10月15日、稚内地区大会は20時から開催したが、大会成立要件を満たさなかったため懇談会に切り替え、意見交換で理解を深めた。

道東支部
根室地区で懇談会

10月15日に知床観光船「おーろら」に訪船、懇談会を開催し、活動方針案と組合活動について意見交換を行い、共通理解を深めた。組合員からは船員しんぶんに「おーろら3」が掲載されたことについて感謝の気持ちが述べられた。

道南支部
道南地区で懇談会

10月15日に道南支部で道南地区大会を開催したが、成立要件を満たさなかったため、懇談会に切り替え、意見交換で共通理解を深めた。

東北地方支部
石巻・塩釜地区で懇談会

10月10日の13時から、東北地方支部で、石巻・塩釜地区大会を開催し、成立要件を満たさなかったため、地区懇談会に切り替え意見交換を行った。はじめに高橋雅幸東北地方支部長から「活動方針案は昨年決まった活動の基調を土台としつつ、変化を反映した記述となっている。十分な意見交換を行いたい」とあいさつした。続いて執行部から第80年度東北地方支部活動報告を行った。次に第81年度活動方針案を説明した後、海上旅客運送業の最低賃金と最近の利用者などの状況について意見交換が行われた。

気仙沼支部
気仙沼・岩手地区で懇談会

10月10日、13時から支部会議室で気仙沼・岩手地区大会を開催したが成立要件を満たさなかったため、懇談会に切り替え、意見交換で共通理解を深めた。

小名浜支部
小名浜地区で懇談会

10月15日、13時30分から、小名浜支部会議室で小名浜地区大会を開催したが成立要件を満たさなかったため、地区懇談会に切り替え、意見交換を行った。

北陸支部
北陸地区で懇談会

10月7日、10時から、北陸支部で北陸地区大会を開催し、成立要件を満たさなかったため、地区懇談会に切り替え、意見交換を行い、共通理解を深めた。

鹿児島支部
鹿児島地区で懇談会

10月6日に鹿児島地区大会を開催したが、成立要件を満たさなかったため、地区懇談会に切り替え、意見交換で共通理解を深めた。

沖縄支部
那覇・石垣地区で懇談会

10月8日に石垣地区、翌9日に那覇地区で地区大会を開催し、両地区とも成立要件を満たさなかったため、懇談会に切り替え、意見交換を行い共通理解を深めた。

小名浜支部

北陸支部

沖縄支部

鹿児島支部

中・四国地方政治参与会

海運の重要性を引き続き発信

松浦満晴組合長のあいさつ

除補修中・四国地方支部長のあいさつ

10月1日の15時から、中・四国地方支部会議室において、中四国地方支部管内の本組合政治参与8人と松浦満晴組合長をはじめとする執行部10人が出席し、「中・四国地方政治参与会」を開催した。

はじめに除補修中・四国地方支部長があいさつを述べて、組合を代表して松浦満晴組合長から「コロナ禍の影響により、中・四国地方支部管内では久しぶりの開催となったが、政治参与の方々には常日頃より組合活動にご理解をいただき感謝申し上げたい」とあいさつを述べた。

続いて政治参与を代表し森本真治参議院議員から「当地区においては、多くの島しょ部があり、そこで生活している人々を守っていくためにも、海運の重要性を引き続き発信していきたい」とあいさつが述べられた。

議事に入り、遠藤飾政策局総合政策部長から第85回定期全国大会の決定事項に基く、海事振興連盟や政党、関係省庁への申し入れについて報告が行われた。続いて中・四国地方支部管内の各支部から、活動の概要が報告された。

次に各政治参与からは活動報告が行われ▽燃料油価格の助成金について▽船員の住民税減免について▽小学生児童を対象とした体験乗船について▽国や県による離島航路への補助事業―などについて意見交換を行い、相互理解を深め今後も定期的に政治参与会を開催していくこととし、政治参与会を終えた。

海員スポーツイベント

全国各地で ボウリング大会

ボウリングで家族や同僚と和気あいあい

北海道地方支部

10月20日、18時30分から、GiGOボウル苫小牧で第17回苫小牧・室蘭地区港湾ボウリング大会を開催し、組合員と関係者の合計31人が参加した。ストライク賞を設定し、ストライクのたびに歓声が沸きゲームが白熱した。

関西地方支部

9月4日、神戸市中央区のラウンドワン三宮駅前店で、令和7年度ボウリング大会を開催し、現場組合員と家族など18人が参加した。ガーターやミスを連発する人も見られたが、徐々にエンジンがかかり、ピンが勢いよく飛び跳ね、ストライクやナイススペアに参加者の歓声が響き渡り、大会は盛り上がった。

新潟支部

10月17日、ラウンドワン新潟美咲町店で第7回ボウリング大会を開催し、組合員と家族、関係各社など総勢55人が参加した。日ごろ政策活動に尽力いただいている西村智奈美衆議院議員も参加し、ゲームは大いに盛り上がった。

大阪支部

7月17日、18時から、ラウンドワン梅田店で海員スポーツイベントボウリング大会を開催し、組合員と家族、関係者の総勢42人が参加した。ストライクやスペアにハイタッチする姿などが見られ、会場は大いに盛り上がった。

名古屋支部

7月18日、海の日記念ボウリング大会を四日市市のラウンドワンみえ川越店で開催し、総勢74人が参加した。ストライクを出し雄叫びをあげ仲間達とハイタッチする人や、ガーターに怯まず頑張る人など熱気と歓喜で溢れた。

九州関門地方支部

8月8日、下関ロイヤルボウルで、北九州・下関ボウリング大会を開催し、現場組合員と家族、関係者など総勢78人が参加、来賓として組合政治参与の城井崇衆議院議員と奥村直樹北九州市議会議員も駆けつけ大いに盛り上がった。

北海道地方支部

新潟支部

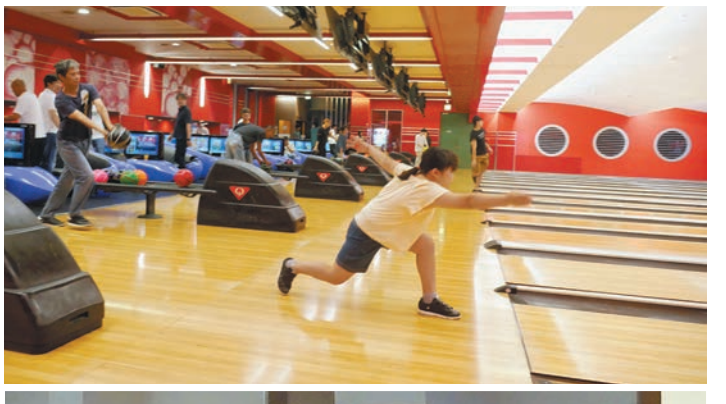
関西地方支部

大阪支部

名古屋支部

九州関門地方支部

新潟支部のイベントに駆けつけた西村智奈美衆議院議員



九州関門地方支部のイベントに駆けつけた城井崇衆議院議員